

SUZUKA 1000km THE FINAL 1966-2017

2017  **AUTOBACS SUPER GT ROUNDS**
46TH INTERNATIONAL SUZUKA 1000KM



MOBILITY LAND

<http://www.mobilityland.co.jp/>

【イベント概要】



公式B2ポスター

- イベント名称：2017 AUTOBACS SUPER GT Round 6
第46回 インターナショナル SUZUKA1000km
“SUZUKA 1000km THE FINAL”
- 併 催：2017 FIA-F4選手権 第11戦&第12戦
ポルシェ カレラ カップ ジャパン2017シリーズ第9戦
- 日 程：2017年8月26日(土) 公開車検/公式予選/決勝レース
27日(日) 決勝レース
- 主 催：関西スポーツカークラブ (KSCC)
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公 認：国際自動車連盟 (FIA)
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 後 援：経済産業省/国土交通省/三重県/鈴鹿市/
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会 場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(4輪用:5.807km)
- 天 候・動 員：8月26日(土) 晴れ 30.5℃ 27,500人
27日(日) 晴れ 30.2℃ 45,000人
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表
[2016年実績] 8月27日 晴れ 30.8℃ 26,500人
28日 曇り 27.5℃ 34,000人

【メディア概要】

- 取 材 者 数：122媒体 255名
- テレビON AIR：J SPORTS(SUPER GTオフィシャルテレビ)
 - 予選 8月26日(土) 14:20～ J SPORTS 3 生中継
 - 決勝 8月27日(日) 12:00～ J SPORTS 4 生中継
 J SPORTS LIVE+オンデマンド
 ～PC・スマホ・タブレットでも視聴可能～
 J SPORTS [GTV2017 ～ SUPERGTトークバラエティ～#6]
 9月30日(土) 23:00～24:00 J SPORTS 3
 テレビ東京系 [SUPER GTプラス]
 テレビ東京系 毎週日曜23:30～
- 公式ウェブサイト：鈴鹿サーキット <http://www.suzukacircuit.jp/>
 SUPER GT <http://www.supergt.net/>
 SUPER GT公式モバイルサイト <http://supergt-square.com/>



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F, 1-15-9 MINAMI-AOYAMA, MINATO-KU, TOKYO 107-0062, JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

“最後の1000km”はEpson Modulo NSX-GTが NAKAJIMA RACINGとダンロップタイヤに10年ぶりの優勝をもたらす!

“GT500は、序盤にポールポジションのジョアオ・パオロ・デ・オリベイラがドライブするフォーラムエンジニアリング ADVAN GT-Rがリードしますが、KEIHIN NSX-GT (塚越広大/小暮卓史) がこれをかわし、次いでEpson Modulo NSX-GT (ベルトラン・バゲット/松浦孝亮) がトップに立ちます。しかし、147周目に2位走行中のKEIHIN NSX-GTがタイヤトラブルでリタイア。Epson Modulo NSX-GTがMOTUL AUTECH GT-R (松田次生/ロニー・クインタレリ) の追い上げをしのいで、中嶋悟監督率いるNAKAJIMA RACINGとダンロップタイヤに10年ぶりの優勝をもたらしました。2位にMOTUL AUTECH GT-R、3位にはすさまじい追い上げを見せたRAYBRIG NSX-GT (山本尚貴/伊沢拓也) が入りました。

GT300は、予選9番手から追い上げたLEON CVSTOS AMG (黒澤治樹/蒲生尚弥) がランキングトップのVivaC 86 MC (松井孝允/山下健太/近藤翼) を150周目にかわし、逃げ切りしました。

GT500	MACHINE	DRIVER	LAPS	TIRE
優勝	Epson Modulo NSX-GT	ベルトラン・バゲット/松浦孝亮	171	DL
2位	MOTUL AUTECH GT-R	松田次生/ロニー・クインタレリ	171	MI
3位	RAYBRIG NSX-GT	山本尚貴/伊沢拓也	171	BS

GT300	MACHINE	DRIVER	LAPS	TIRE
優勝	LEON CVSTOS AMG	黒澤治樹/蒲生尚弥	158	BS
2位	マネパ ランボルギーニ GT3	織戸学/平峰一貴/山西康司	158	YH
3位	ショップチャンネル ランボルギーニ GT3	細川慎弥/佐藤公哉/元嶋佑弥	158	YH

※本大会はレース中にセーフティカーランが2度行われたこともあり、最大延長時間の18:28にチェッカーとなりました。 BS…ブリヂストン DL…ダンロップ MI…ミシュラン YH…ヨコハマ



GT500クラス優勝
Epson Modulo NSX-GT



GT300クラス優勝
LEON CVSTOS AMG



GT500クラス表彰式



GT300クラス表彰式

【サポートレース優勝者】

2017 FIA-F4選手権



第11戦 角田裕毅



第12戦 宮田莉朋

ポルシェ カレラ カップ ジャパン2017シリーズ



第9戦 三笠雄一

※詳細なレポート・リザルトは以下をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/> SUPER GT 公式ウェブサイト <http://supergt.net/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

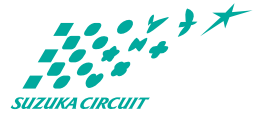
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

プロモーションダイジェスト



■ ジェンソン・バトン記者会見

6月6日(火) 鈴鹿サーキットブリーフィングルームにて



ジェンソン・バトン記者会見

■ WEBバナー広告

5月22日(月)~6月 2日(金)
6月12日(月)~6月23日(金)
7月 3日(月)~7月14日(金)

■ リスティング広告

8月1日(火)~8月25日(金)

■ Facebook広告

香港・タイ向け 6月16日(金)~6月30日(金)
国内向け・在日外国人向け 7月21日(金)~7月31日(月)

■ プロモーションビデオ(過去1000km優勝車両全車のPV)

鈴鹿サーキットWEB、場内ビジョン
富士スピードウェイ SUPER GT第5戦 サーキットビジョン
日本語版Facebook (147,822リーチ、17,000回再生)
英語版Facebook広告(181,854リーチ、192,000回再生)

■ 参戦ドライバーコメント動画

AS WEBとのタイアップにより、AS WEB、自社WEBに掲載

■ 前夜祭のFacebook ライブ配信

110,187リーチ、21,328回再生

■ テレビ

[GT+]夏休み!サーキットへ行こう特集 7月9日(日)

■ その他鈴鹿大会告知

8月13日(日)、20日(日)



WEBバナー広告



プロモーションビデオ



前夜祭のFacebook



テレビ

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

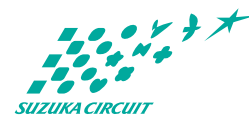
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン1



オートバックスブースで行われたARTAトークショー。左から鈴木亜久里プロデューサー/総監督、土屋圭市エグゼクティブ・アドバイザー、野尻智紀、小林崇志、高木真一、ショーン・ウォーキンショー各選手。



LEXUSブースで行われた関口雄飛、国本雄資、小林可夢偉 各選手(左から)のトークショー(26日)。



NISMOブースで行われたニスモアンバサダー ミハエル・クルム氏のトークショー(27日)。



決勝スタートを前にHonda RacingのドライバーたちがHondaファンシートのお客さまにごあいさつ。左から松浦孝亮、小暮卓史、武藤英紀、小林崇志 各選手(27日)。



SUBARUブースで行われた山内英輝、井口卓人 各選手(左から)のトークショー(26日)。



BRIDGESTONEブースで行われた星野一義監督、鈴木亜久里プロデューサー/総監督(左から)のトークショー(26日)。



YOKOHAMAブースで行われた片山右京監督、谷口信輝選手(左から)のトークショー(26日)。



スロットゲームにチャレンジ、同一ブランドを3つそろえるとオリジナルグッズがプレゼントされたDUNLOPブース。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン2



NGKブースで行われたお客さまによるスパークプラグ交換体験。



メルセデス・ベンツブースで行われた特別展示「Mercedes-AMG 50年間の歴史」。



レースクイーンによるミニライブが行われたエヴァレーシング NERV購買部ブース。



グランツーリスモSPORTをご体感いただいたグランツーリスモブース。



LEXUSのゲストの皆さまにお楽しみいただいたサービスロードツアー(27日)。



メルセデス・ベンツのゲストのお客さまにお楽しみいただいたサービスロードツアー(27日)。



交通教育センターを拠点に最新の日産車で鈴鹿市内をミニドライブしていただいた「日産自動車 試乗会」。



新型レヴォーグ、WRX S4の同乗体感試乗会「EyeSight Touring Assist DRIVING EXPERIENCE」(交通教育センター)。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



今回で歴史の幕を閉じる「鈴鹿1000km」のコンセプトを継承しつつ、2018年から始まる新たな耐久レース「鈴鹿10時間耐久レース」の概要発表会が行われました(25日)。



ピットウォークスタイルで行われた公開車検「オープンピット」(26日)。



決勝スタート前に行われたレジェンドグループCカー3台によるデモンストレーション走行(左…NISSAN R92CP 右手前…トヨタ TS010 右奥…ポルシェ962)。



46回の歴史を終える鈴鹿1000km最後の決勝レースに先駆けてレジェンドドライバーによるご挨拶が行われました。高橋国光監督を中央に、星野一義(右)、関谷正徳各監督(27日)。



決勝スタート前に三重県警交通機動隊がSUPER GTマシンを先導してのパレードを実施し、交通安全をアピールしました(27日)。



決勝レース後にはホームストレートを開放。表彰式をコース上からお楽しみいただくとともに車両保管場所(パルクフェルメ)のすぐ近くまでアクセスいただきました(27日)。

PICK UP 1 夏休み最後の週末に行われた本大会では、ファミリーでお楽しみいただけるイベントを開催いたしました。



電気で動くカートの組み立てと走行をご体験いただいた「電気カートメカニック体験 in レーシングシアター」(レーシングシアター前)。



ウッドクラフトベースキットを使ってオリジナルGTマシンを組み立てていただいた「オリジナルGTマシン工作体験」(アートのりもの研究所)。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

PICK UP 2 「鈴鹿1000km」の歴史を振り返り、「鈴鹿10時間耐久レース」への期待が膨らむ特別展示が実施されました(GPスクエア)。



1968～2013年の「鈴鹿1000km」を彩ったレジェンドマシン8台が展示された「伝説の鈴鹿1000km ～時代を繋いだハコレースの祭典～」。



世界のスーパースポーツカーをベースにしたGT3カーで争われる「鈴鹿10時間耐久レース」の初開催を記念して国産GT3カー(左からNISSAN GT-R NISMO GT3、Honda NSX GT3)。

PICK UP 3 GPスクエアに設置された「SUPER GT SQUARE オフィシャルステージ」ではさまざまなイベントが展開されました。



今回の参戦で話題を呼んだ2009 F1世界チャンピオン ジェンソン・バトン選手のトークショー。



多くのSUPER GTマシンの足元を支えているYOKOHAMAタイヤのPRステージ。

PICK UP 4 決勝レースを翌日に控えた26日夜、グランドスタンドおよび国際レーシングコース東コースを舞台に恒例の「前夜祭」が開催されました。



一時代を築いたグループCカーのデモランに先駆けて星野一義(中)、関谷正徳(右) 両監督が思い出を語りました。



世界中から注目を集めているわが国のSUPER GT、F1を経験した3人・左からジェンソン・バトン、小林可夢偉、中嶋一貴 各選手がその魅力を語りました。



2018年から始まる「鈴鹿10時間耐久レース」での活躍が期待される国産GT3マシンが千代勝正選手(左 NISSAN GT-R NISMO GT3)、ジェンソン・バトン選手(右 Honda NSX GT3)



前夜祭を締めくくったのは、ホームストリートとピットレーンを開放してお楽しみいただいた「ナイトストリートウォーク」。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【PRブース等 ご出展各社】



株式会社アップガレージ【PR】

株式会社イー・スマイル【PR】

エヴァンゲリオンレーシング NERV購買部
【PR・販売】



株式会社M-TEC【PR・販売】

株式会社オートバックスセブン【PR・販売】

カシオ計算機株式会社【PR】

クラリオン株式会社【PR】



シーシーアイ株式会社【PR】

住友ゴム工業株式会社【PR】

株式会社SUBARU【PR】

株式会社ソニー・インタラクティブ
エンタテインメント【PR】



トヨタ自動車株式会社【PR】

日産自動車株式会社【展示】

ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル
株式会社【PR・販売】

日本特殊陶業株式会社【PR】



株式会社プリヂェストン【PR・販売】

本田技研工業株式会社【PR】

メルセデス・ベンツ日本株式会社【PR・販売】

横浜ゴム株式会社【PR・販売】

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

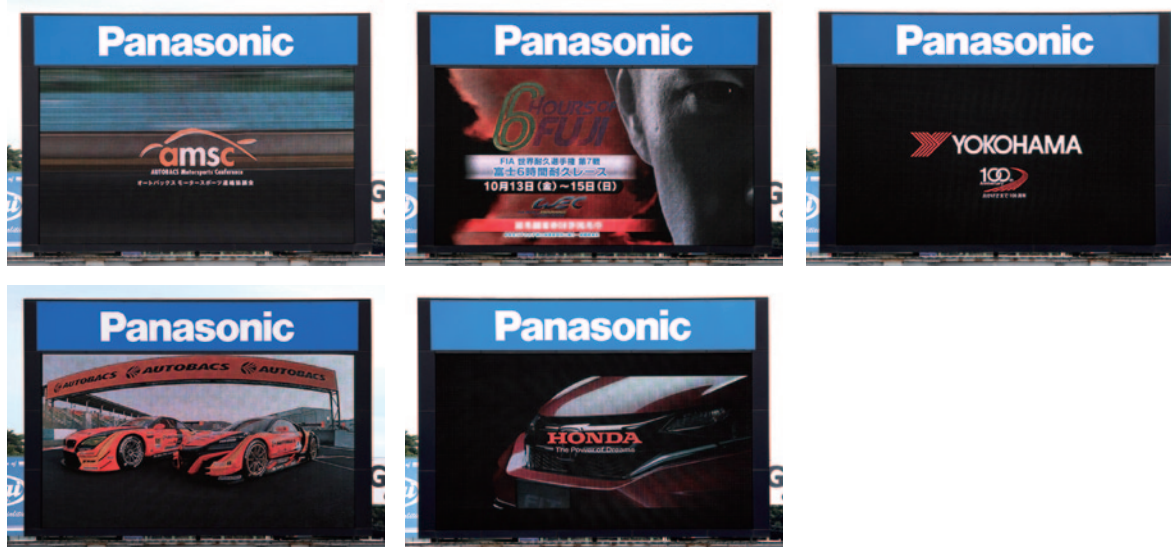
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【サーキットビジョンご協賛各社】



amsc 株式会社オートバックスセブン	富士スピードウェイ株式会社 本田技研工業株式会社	横浜ゴム株式会社
------------------------	-----------------------------	----------

【VIPスイートご利用各社】

日本ミシュランタイヤ株式会社 Lexus International

【ホスピタリティテラスご利用各社】

EMGマーケティング合同会社 株式会社ジェイ・スポーツ スタンレー電気株式会社 株式会社SUBARU	CERUMO-INGING トヨタカローラ三重 横浜ゴム株式会社
---	--

【ホスピタリティラウンジご利用各社】

LM Corsa 株式会社オートバックスセブン	ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル株式会社 メルセデス・ベンツ日本株式会社
----------------------------	--

【場内のぼり・横断幕ご掲出各社】



株式会社オートバックスセブン	株式会社ケーヒン
----------------	----------

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【試乗会ご利用各社】



株式会社SUBARU
日産自動車株式会社

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー 140p 17,000部発行

大阪トヨペット株式会社 株式会社オートボックスセブン 奥の松酒造株式会社 カシオ計算機株式会社 カルソニックカンセイ株式会社 株式会社ケーヒン	住友ゴム工業株式会社 トタル・プリカンツ・ジャパン株式会社 日産自動車株式会社 株式会社NIPPO 日本特殊陶業株式会社 株式会社ブリヂストン	本田技研工業株式会社 メルセデス・ベンツ日本株式会社 横浜ゴム株式会社 株式会社ローソンHMVエンタテイメント
--	--	--

【観戦ガイド広告ご協賛社】

e燃費

【応援席ご利用】

株式会社オートボックスセブン KeePer技研株式会社 株式会社ゲイナー	株式会社ケーヒン スタンレー電気株式会社 株式会社SUBARU	株式会社セルモ トヨタ自動車株式会社 日産私設応援団	株式会社ホンダアクセス Honda Cars東海 本田技研工業株式会社
--	---------------------------------------	----------------------------------	---

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

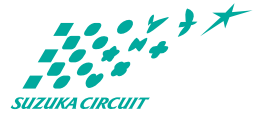
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2017年8月1日現在